

後期課程のダンス発表会を行いました！

2月4日(金)に、後期課程のダンス発表会を行いました。保健体育の授業の一貫として、7、8、9年生が、それぞれ学年ごとのグループで踊る曲を決めて、イメージに合った振り付けや踊る隊形を考え、練習を積み重ねてきました。

新型コロナウイルス感染防止のため、残念ながら保護者や保育園、地域のみなさん方への案内は出来ませんでした。1年生から6年生までの前期課程の子ども達を招待して、全校児童生徒と教職員で鑑賞しました。

どの学年も素晴らしいダンスを発表してくれましたが、9年生の5人のメンズのダンスは、振り付けの切れやダンスのストーリー構成がずば抜けていたため、3年連続でアンコールダンスに選ばれました。

低学年の子ども達は、切れのあるステップや振り付けに歓声を上げたり、早速ダンス振り付けをまねして踊ってみたりと、とても楽しい時間を過ごすことができました。

後期課程のみなさんは、前期課程の子ども達にとって、キラキラと輝いている憧れのダンサーになっていましたよ。素敵なダンスをありがとうございました。



植林・枝打ち・植菌体験が行われました！

2月18日(金)に1・2年生の植林体験と3・4年生の枝打ち体験と5年生の椎茸の植菌体験が行われました。

1・2年生は、蚪道（イラド）で杉の苗を植えました。足場の悪い斜面での鋤を使った作業は、難しいだろうと思われましたが、森林組合や愛林クラブのみなさん方に丁寧にご指導いただきました。コツをつかんだ子ども達は、どんどん穴を掘って、たくさんの苗木を植えることが出来ました。



3・4年生は、高取（タカトリ）で枝打ちを行いました。のこぎりを使って、杉の木の枝を切り落とすのは、結構たいへんな作業です。特に、自分の身長よりも高い位置にある枝を切り落とすには、とても苦勞をしていました。しかしながら、コツをつかんだ子ども達は、枝打ちのスピードがどんどん速くなっていきました。矢部清流学園の子ども達が植林し、枝打ちや下草刈りをした杉の木が、立派に成長して、数十年後に社会の役に立ってくれることを期待しています。



5年生が、椎茸の植菌を体験しました。N・Mさんに、椎茸の原木や道具類を準備していただきました。子ども達は、椎茸が育つ仕組みをNさんから教えていただき、身近な食材でありながらも改めて聞くお話に感心していました。その後、Nさんがドリルで一定間隔に穴を開けた原木に椎茸菌が詰まったコマを金槌で丁寧に打って植菌しました。

今回食菌した原木からの収穫は、まだ先のこととなりますが、矢部清流学園では、1年を通して椎茸栽培に取り組み、来年度こそは収穫した椎茸を販売する体験までつなげ、矢部の特産物に誇りと愛着を持ってもらいたいと考えています。

